

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条 (PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 _____ 項*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
- ☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
- ☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	7, 11, 12, 15-21	有
	請求の範囲	1-6, 8-10, 13, 14	無
進歩性(I S)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-21	無
産業上の利用可能性(I A)	請求の範囲	1-21	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

国際調査報告で引用した文献

文献1:JP 2003-224185 A(松下電器産業株式会社)

2003.08.08,段落【0020】-【0082】,第1-6図

文献2:JP 2003-258090 A(富士通株式会社)

2003.09.12,段落【0025】-【0108】,第1-23図

請求の範囲1,3-6,8-10,13,14

文献1には、誘導結合型、マイクロ波型等のプラズマ反応室に置かれた半導体基板上の導電層表面を清浄化する方法であって、前記反応室内で水素、アルゴン、ヘリウム等のプラズマを発生させ、前記導電層表面をこのプラズマによって還元しながら清浄化する清浄化方法が記載されているから、請求の範囲1,3-6,8-10,13,14に記載された発明は、新規性、進歩性を有しない。

請求の範囲1-4

文献2には、反応室内に置かれた半導体基板上の導電層表面を清浄化する方法であって、前記反応室内で水素プラズマを発生させ、前記導電層表面を前記プラズマによって還元し、前記導電層表面上に存在する残渣有機物を除去する清浄化方法が記載されているから、請求の範囲1-4に記載された発明は、新規性、進歩性を有しない。

請求の範囲7

文献1には記載の水素に対するヘリウムの比率を0.005~20の範囲に選択することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲11,12

文献1に記載のプラズマ処理装置において、プラズマ密度を $10^{10} \sim 10^{13}/\text{cm}^3$ にすること、及び、プラズマの電子密度を0.7~3eVにすることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲15,17-21

文献1に記載の清浄化方法を実行するソフトウェアを記憶した記録媒体とすることは、当業者にとって自明である。

請求の範囲15-18

文献2に記載の清浄化方法を実行するソフトウェアを記録した記録媒体とすることは、当業者にとって自明である。